



# 「町民と語る会」報告書

開催日時	令和5年5月26日	午後6時00分～午後7時35分
団体等名	上朝丸町内会	
開催場所	上朝丸公民館	
出席議員	石川保、工藤範子、五十嵐啓一、上野幸美、渡部伊君子、奥山康宏	
	阿部利勝、伊藤和美、石川武利 計9人	
参加人数	國分会長他13人	
主な「質疑」「意見」「要望」「提言」など	※上朝丸町内会との意見交換は、以下のとおり。	
	1. アピア跡地の住宅地について 事前提出されていた質問事項について、次の通り回答した。  質問1 町とアピア跡地の開発業者の間で、上朝丸町内会への編入について協議しているのか。 回答 町内会については、町と開発事業者との間での具体的な協議はしていないが、昨年秋に、町と上朝丸自治会と協議している。  質問2 上朝丸町内会の住民が、役場担当課でアピア跡地について質問したところ、民間業者の事業には一切タッチしない旨を伝えられた。町として、多額の助成金を出していることも踏まえ、一定の関わりを持つべきと考えるがどうか。 回答 町としては、開発区域内の道路の協議や、上下水道などのライフライン、雨水排水の処理計画の協議、関係機関への協議などについて、指導等を実施している。また、地域からは仮囲いの転倒や、砂の飛散などの相談もあり、地域とトラブル等がないように良好に事業を進めるようお願いをしている。	

庄内町議会議長 殿

令和5年6月21日

庄内町議会「町民と語る会」実施要領の規定により提出します。

令和5年度町民と語る会

班長 五十嵐 啓一

## 「町民と語る会」報告書(2号様式)

主な「質疑」「意見」「要望」「提言」など	<p>質問 3 当町内会へ編入となった際は快く受け入れたいと思っているが、諸課題(ゴミステーション管理、防犯灯、町道除雪、隣組の区割り等)を当町内会に丸投げされるようでは、町内会役員の負担が大きく、今後の町内会運営に支障をきたす。町が主導的立場で諸課題解決に関わるべきと考えるがどうか。</p> <p>回答 現在工事が進められている箇所の道路は、開発協議の同意を得た土地開発事業者が、庄内町分譲宅地開発支援事業補助金制度を利用して整備している宅地における開発道路で、庄内町道路認定基準及び維持管理に関する規定第5条に規定する協議に基づき整備している開発区域内の公衆用道路となっている。</p> <p>ゴミステーションの新設については、「住みやすい地域づくり活動交付金」の「ゴミステーション等整備事業」により、事業費の2分の1以内7万円を限度に交付金として補助します。</p> <p>防犯灯の新設については、「住みやすい地域づくり活動交付金」の「街路灯・防犯灯整備事業」により、事業費の10分の8以内の額を交付金として補助します。</p> <p>消防水利については、酒田地区広域行政組合消防本部から、開発者の申請について、開発許可基準に適合するので同意する旨の回答がなされている。</p>
	<p>質問 4 アピア跡地の開発に伴い、4700万円の助成金のほか、個別に新築祝い金なども給付されていると聞いている。これらも含めれば8000万円～1億円程度の税金が投入されると思われる。チェックする立場の議会として、または議員個人としての見解をお聞きしたい。</p> <p>回答 庄内町分譲宅地開発支援事業補助金制度に基づいて補助金の交付決定がされており、町からは事業の完成後の支出となります。金額の算定根拠は、1区画100万円、32区画で3200万円、道路部で436万4千円となるので、3634万4千円の補助金支出を見込んでいる。質問での4700万円は、常万地区で実施される分譲宅地開発分を合わせた金額となるので、確認をいただきたい。</p> <p>また、住宅を取得した方に対する支援制度で、最大の額は100万円/戸(町外の若者の方が町内の住宅施工業者を利用した場合)、最小の額は30万円/戸(町内の若者が町外の住宅施工業者を利用した場合)となっています。この地域での補助金は、最大で32区画ですので、3200万円ととらえています。</p> <p>以上、町の考えを報告したのちに、さらに参加者から意見がでた。</p> <p>意見 上朝丸町内会の総会資料の中に、ゴミステーションの新設、街路灯の設置等、総会資料に記載されていた。本来であれば、住宅団地の開発業者が生活インフラの整備を行うものと認識している。正式に町内会に入ることになったとき、生活インフラをその町内会に開発業者が寄贈する手続きをすべきである。町が民間業者の開発行為に一</p>

## 「町民と語る会」報告書(2号様式)

切、口出しできないのは理解できない。一気に32戸が上朝丸町内会に入りたいのであれば、町内会に何らかの説明、コンタクトを積極的に持つべきである。説明ない状況では、上朝丸町内会に加入することには反対である。

**意見** 町内会の意見を集約すると、3対7の割合で、上朝丸町内会に加入することに反対の声が大きくなっている。一つの自治会として独立すべきと思っている考え方もあるが、一気に32世帯住む訳でないので、最終的に上朝丸町内会に受け入れざるを得ないのかな、と個人的に考えている。新たに来る住民は、町内会のことは考えていないだろうし、町や開発業者、上朝丸町内会と積極的に連携して、諸課題の話し合いの場を持つべきである。開発行為に対して、税金を投入するのであれば、町も一定の関わりを持つべきであり、議員の皆さんからも我々の力になってもらいたい。

**議会** 開発業者と町内会との間で、話し合いの場がどの程度あったのか。それとも、話がすれ違いでまとまらなかったのかどうか教えて欲しい。また、これまで町内会と町との間でどういうコンタクトを取ってきたか、確認させていただきたい。

**町内会** 令和4年11月22日に町の企画情報課と、町内会役員と話し合いを行っている。アピア跡地の住宅団地32戸をどうするか、話し合いはしたが結論はでなかった。山形新聞の広告欄に、アピア跡地の販売状況が掲載されているコピーをいただき、32戸中、29戸が売却されていたことを初めて知った。

**意見** 町は開発行為の許可を出しているのであれば、業者としっかり話し合い、町内会のことをどうするのか、段取りを取っていただきたい。今回のように、一気に32戸が町内会に入るとなると、様々な問題があり、1戸や2戸加入するのとは対応が違う。今、きちんとルール作りをしておかないと、今後、新たに団地が造成されるとき、また苦勞するのでないか。

**議会** 町内会からの意見や要望のなかで、街路灯やごみステーション設置については、既存の町内会に設置する前提の基準だとも考えられる。今回のように大規模な住宅団地造成の場合は、事前にインフラ整備を行った後に、宅地販売を実施した方が得策だと思うので町に働きかけたい。

**議会** 役場が主体となり事業者、地元町内会を含め3者間で、きちんと説明を受けたり、何が課題になっていて、何をしたいのか、もう一度役場から入ってもらって、話し合いの場を設けるように働きかけたい。

## 「町民と語る会」報告書(2号様式)

意見 今まで商圈区域で利用していた土地を、住宅地に変更するにあたって、町の都市計画審議会で審議していないのはおかしい。昨年も都市計画審議会は、一回も開催されていないのではないか。町の根幹(都市計画)を今一度、しっかりとしたものに見直すべきである。

要望 アピア跡地を開発した際、工事概要を示す看板が設置されていなかった。また、砂の飛来により、道路や側溝が砂で溢れている箇所もあった。開発が終わった際は、側溝の蓋をあげて砂の除去や道路の掃除をお願いしたい。

### 2. その他

要望 上朝丸町内は、今まで国道が通っていたが、国道認定も外れ、徐々に店舗も減ってきている。夜になると周りは真っ暗な状態である。一昨年 JA 庄内たがわの総代会において、梵天の施設があこの地から撤退する決議がされた。その後事業計画は頓挫して撤回されたが、梵天が今後どうなるのか注視している。この場所は町湯とも隣接して本町の中心商業地である。町として取得するとか積極的に関わっていただきたい。

議会 当初は、梵天の土地についても、別の民間業者で開発するとの計画であったが、途中、頓挫してしまった。議会としても定例会の中で一般質問したり、JA 庄内たがわと懇談会の中で、話し合いの場を持ち、情報交換は行っている。

要望 特急列車のいなほですが、余目駅から乗車するとき、ホームと列車のステップ間にかなりの段差があり、乗り降りが大変である。特に冬場の時期、電車から降りるとき危険を感じる。

議会 特急いなほは、JR 新潟駅で新幹線ホームに乗り入れるため、ステップが高くなったと思う。改善していただくよう働きかけたい。

意見 南野地区に建設された子育て応援住宅について、入居状況はどうか。入居者からすれば市街地の住宅地に建設すべきでないか。

議会 子育て応援住宅は、余目第四小学校の児童を増やすために実施された制度である。当初は 16 戸全部入居していたが、現在は一室空いているようだ。

(以上)